

表② 教科及び教職に関する科目（小学校教諭一種）

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等				最低 修得 単位数	開設科目			履修方法	
科目区分		各科目に含めることが 必要な事項			左に対応する開設授業科目	単位数			
						必修	選択		
第2欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語（書写を含む。）	30	初等国語教育通論		2 ※	選択科目 ※から 8単位以上、 選択科目 ○から 6単位以上 それぞれ 修得	
			社会		初等社会科教育通論		2 ※		
			算数		初等算数教育通論		2 ※		
			理科		初等理科教育通論		2 ※		
			生活		初等生活科教育通論		2 ○		
			音楽		初等音楽教育通論		2 ○		
			図画工作		初等図画工作教育通論		2 ○		
			家庭		初等家庭科教育通論		2 ○		
			体育		初等体育教育通論		2 ○		
			外国語		初等英語教育通論		2 ※		
			各教科の指導法（情報通 信技術の活用を含む。）		国語（書写を含む。）	国語科指導法	2		
					社会	社会科指導法	2		
		算数			算数科指導法	2			
		理科			理科指導法	2			
		生活			生活科指導法	2			
		音楽			音楽科指導法	2			
		図画工作			図画工作科指導法	2			
		家庭			家庭科指導法	2			
		体育	体育科指導法		2				
		外国語	外国語（英語科）指導法		2				
第3欄	教育の基礎 的理解に関 する科目	教育の理念並びに教育に関する 歴史及び思想	10	教育原理	2				
		教職の意義及び教員の役割・ 職務内容（チーム学校運営へ の対応を含む。）		教職原論	2				
		教育に関する社会的、制度的 又は経営的事項（学校と地域 との連携及び学校安全への対 応を含む。）		教育社会学	2				
		幼児、児童及び生徒の心身の 発達及び学習の過程		教育心理学	2				
		特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解		特別なニーズ教育の基礎 と方法	2				
		教育課程の意義及び編成の方法 （カリキュラム・マネジメント を含む。）		教育課程論（初等教育）	2				
		第4欄		道徳、総合 的な学習の 時間等の指 導法及び生 徒指導、教 育相談等に 関する科目	道徳の理論及び指導法	10	道徳教育指導法	2	
総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間及び 特別活動の指導法		2						
特別活動の指導法	教育方法・技術論		1						
教育の方法及び技術	教育とICT活用		1						
情報通信技術を活用した教育 の理論及び方法	児童生徒指導論		2						
生徒指導の理論及び方法	児童教育相談の基礎		2						
教育相談（カウンセリングに関 する基礎的な知識を含む。）の 理論及び方法	キャリア教育指導論		2						
進路指導及びキャリア教育の 理論及び方法									
第5欄	教育実践に 関する科目	教育実習	5	小学校教育実習Ⅰ	4	2			
		小学校教育実習Ⅱ							
		教職実践演習	2	小学校教育実習事前事後指導	1				
		教職実践演習（初等教育）		2					
第6欄	大学が独自に設定する科目		2	介護等体験実習	1	2 1			
				障害のある子どものICT活用 接続期の保育と教育					
合 計				59	合 計（40科目）		52	25	履修指定 66単位

備考1 履修指定単位数66単位には、選択科目のうちの必修単位数14単位を含む。

備考2 第6欄「大学が独自に設定する科目」の必修科目に、選択科目又は最低修得単位を超えて履修した第2欄から第5欄の科目の単位と併せて1単位以上を修得するものとする。

B 特別支援学校教諭一種免許状

特別支援学校教諭一種（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）免許状を取得するためには、小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の免許状を有し（基礎資格と呼ぶ）、かつ下記の特別支援教育に関する科目を履修することが必要です。

本学においては、小学校教諭一種免許状を基礎資格としています。履修科目及び履修方法は、以下の表①のとおりです。（基礎資格としての小学校関係科目の履修方法は、小学校教育コースのカリキュラムとは相違点があります。）

表① 特別支援教育に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める 科目区分等			最 低 修 得 単位数	開設科目			履修方法又は 含む領域	
				左に対応する授業科目	単位数			中心となる領域
					必修	選択		
第1欄	特別支援教育の基礎理論に関する科目		2	特別支援教育総論 特別支援教育の歴史	2 2			
第2欄		心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	16	知的障害の子どもの心理・生理・病理	2		知的障害者	
		心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目		肢体不自由の子どもの心理・生理・病理	2		肢体不自由者	
				病弱の子どもの心理・生理・病理	2		病弱者	
	知的障害教育課程論・指導法			2		知的障害者		
	知的障害教育実践法			2		知的障害者		
	肢体不自由教育課程論・指導法			2		肢体不自由者		
	肢体不自由教育実践法			2		肢体不自由者		
	病弱教育課程論・指導法			2		病弱者		
	病弱教育実践法	2			病弱者			
	特別支援教育の授業実践	2		知的障害者				
第3欄	免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	5					
		心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目		障害のある子どもの教育課程・授業論	2	発達障害者	視・聴・知・肢・病	
		・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目		視覚・聴覚障害教育総論	2		視覚・聴覚	
				重複障害・言語障害教育総論	2	重複障害者	発達	
				LD・ADHD等教育総論	2	発達障害者		
				自閉症・情緒障害教育総論	2	発達障害者		
		第4欄		心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	3	特別支援教育実習	2	
特別支援教育実習事前事後指導	1							
合 計			26	合 計 (19科目)		25	12	履修指定29単位

備考1 特別支援教育の領域を知的障害者・肢体不自由者・病弱者とし、この領域の免許状とする。

2 履修指定単位数29単位には、選択科目のうちの必修単位数4単位を含む。

3 第3欄『視覚・聴覚障害教育総論』、『重複障害・言語障害教育総論』、『LD・ADHD等教育総論』及び『自閉症・情緒障害教育総論』の授業内容には、「心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理」及び「心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法」の内容を含む。

C 幼稚園教諭一種免許状

発達支援教育学科の学生で、教育職員免許法に基づく所要の科目の単位及び本学の定める科目の単位を修得し、卒業要件を満たし学士の学位を取得した者が取得できます。

履修科目及び履修方法は、以下の表①～表②のとおりです。

表① 免許法施行規則第66条の6 関係科目（小学校教諭一種免許状の履修方法に同じ）

表② 教科及び教職に関する科目（幼稚園教諭一種）

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等				最低 修得 単位数	開設科目			履修方法	
科目区分		科目に含めることが必要な事項			左に対応する開設授業科目	単位数			
						必修	選択		
第2欄	領域及び保育内容の指導法に関する科目	専門的 事項 領域に関する	健康	16	子どもと健康	1			
			人間関係		子どもと人間関係	1			
			環境		子どもと環境	1			
			言葉		子どもと言葉	1			
			表現		子どもと表現	1			
			(複合領域)		表現の領域と指導法	2			
					健康と環境	2			
					言葉と人間関係	2			
					保育内容総論	1			
		(情報機器及び教材の活用を含む) 保育内容の指導法	(健康)		保育内容（健康）の指導法Ⅰ	1			
					保育内容（健康）の指導法Ⅱ	1			
			(人間関係)		保育内容（人間関係）の指導法Ⅰ	1			
					保育内容（人間関係）の指導法Ⅱ	1			
			(環境)		保育内容（環境）の指導法Ⅰ	1			
					保育内容（環境）の指導法Ⅱ	1			
			(言葉)		保育内容（言葉）の指導法Ⅰ	1			
					保育内容（言葉）の指導法Ⅱ	1			
			(表現)		保育内容（表現）の指導法	1			
第3欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	2				
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		保育者・教師論	2				
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育社会学	2				
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		発達心理学	2				
				保育の心理学	2				
		特別の支援を必要とする幼児児童及び生徒に対する理解		特別なニーズ教育の基礎と方法	2				
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論（幼児教育）	2				
第4欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び機材の活用を含む。）	4	教育方法・技術論	1				
		幼児理解の理論及び方法		教育とICT活用	1				
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		幼児理解と教育相談	2				
第5欄	教育実践に関する科目	教育実習	5	幼稚園教育実習Ⅰ	4	2			
		教職実践演習	2	幼稚園教育実習Ⅱ	1				
第6欄	大学が独自に設定する科目		14	幼稚園教育実習事前事後指導	2				
				保育・教職実践演習（幼稚園）	2				
				幼児教育総論	2				
				インクルーシブ保育Ⅰ	1				
				子ども家庭福祉	2				
				接続期の保育と教育		1			
合 計				51	合 計（36科目）		51	3	履修指定 51単位

備考1 第4欄「幼児理解と教育相談」の授業内容には、「幼児理解の理論及び方法」及び「教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法」の内容を含む。

2 第6欄「大学が独自に設定する科目」の必修科目に、選択科目又は最低修得単位を超えて履修した第2欄から第5欄の科目の単位と併せて、9単位以上を修得するものとする。